

平成 29 年 2 月 2 日

各 位

株式会社 北海道銀行

「福島町昆布プロジェクト」に関する合意書調印式の開催について

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）は、福島町（町長 鳴海 清春）・福島吉岡漁業協同組合（代表理事組合長 阿部 国雄）・株式会社ヤマザキ（代表取締役会長 山崎 寛治）の 3 者による「福島町昆布プロジェクト」に関する合意書調印式を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、福島吉岡漁業協同組合の昆布養殖事業で発生する未利用資源の間引き昆布 の活用方法や地元での事業化を目的として、当行と福島町との間で約 2 年間にわたって 6 次産業化に向けた検討を重ね、3 者のマッチングを実施しました。

水産物の未利用資源を活用した 6 次産業化は全国でも珍しい事例です。

間引き昆布とは、肉厚で大きな正昆布へ成長させるため、毎年春に一部を間引く早取りの昆布のこと。

記

1. プロジェクトの概要

(1) 内容	株式会社ヤマザキは、昆布の乾燥・加工作業や事業コストなどを検証するため、試験事業を行う新会社を福島町に設立する。 福島町および福島吉岡漁業協同組合は、新会社の役員として理事者又は職員を参画させるとともに、事業運営に対し可能な限り協力する。 試験事業の結果本格的な事業化が可能と判断される場合、福島町および福島吉岡漁業協同組合が新会社に各々出資して3者共同での事業展開を行う。
(2) 当行の役割	間引き昆布の活用について、当行は現地で事業化すべき有望素材と捉えた上で複数の候補先と交渉する中で、株式会社ヤマザキをご紹介するに至りました。 新会社の株式払込窓口となるとともに、設備投資の需要に対する資金面でのご支援や今後の事業展開に関する総合的なアドバイスなどを継続する。
(3) 意義	地元資源を活用した新規産業の創出と雇用創出、一次産業者の所得向上、さらに水産物の付加価値向上や地域ブランドの確立など多面的なプラス要素を兼ね備えた事例となり、他自治体の地方創生の取り組みにも大きなヒントや好影響が期待できます。

2. 「福島町昆布プロジェクト合意書調印式」の開催概要

- (1) 日 時 平成 29 年 2 月 9 日 (木) 11:00
- (2) 会 場 福島町吉岡総合センター「なごめ～る」 会場名：やまゆり (福島町字吉岡 204 番地 1)
- (3) 出席者 株式会社ヤマザキ 代表取締役会長 山崎 寛治 様
福島町 町長 鳴海 清春 様
福島吉岡漁業協同組合 代表理事組合長 阿部 国雄 様
北海道銀行 副頭取 山川 広行 【立会人】

3. その他

なお、本件についての情報公開については、合意書調印式の終了後にお願いいたします。

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

北海道銀行 営業推進部	清野	011 - 233 - 1379
地域振興公務部	大田	011 - 233 - 1323
広報 C S R 室	大海・西東	011 - 233 - 1005